

Dell APEX Storage for Public Cloud を選択する主な理由

マルチクラウド エクスペリエンスを高める

1 | 最適化されたコスト

Dell のストレージ ソフトウェアがパブリッククラウド環境で提供するスピード、拡張性、高度なデータ サービスを利用すれば、ネイティブ パブリッククラウド ストレージと比較して最大 82 ~ 87% のコスト削減を実現できます。¹ 大規模なデータベースまたはコンテナ化されたワークロードをサポートしたり、レンダリング ワークフローを AWS にバーストしたり、クラウドベースのデータ保護ソリューションを構成したりすることができます。このサービスファミリーは、ワークロードに関係なく、事前に確定しているクラウド支出と Dell TLA を利用することで、簡単に TCO を改善して、散発的で計画外のクラウド コストを回避できるようにします。

2 | 直感的な管理

一元化されたコンソールを介して、マルチクラウド環境全体でデータとコンテナを導入、管理、モニタリング、移動できます。オンプレミス環境とパブリッククラウド環境にまたがる統合ソフトウェアにより、合理化された管理、生産性の向上、安全な運用を通じてマルチクラウド エクスペリエンスを高められます。管理と運用の卓越性を再定義することで、迅速なイノベーションを推進できます。

3 | 圧倒的なパフォーマンス

パブリッククラウドでミッション クリティカルなワークロードを確実に実行するために必要なパフォーマンス、拡張性、信頼性が得られます。ブロック、ファイル、データ保護全体にわたるエンタープライズ クラスのストレージに対する複数のオプションと、AWS、Microsoft Azure、Google Cloud などのクラウド環境で利用可能な経済的メリット、オンデマンドリソース、高度なサービスを組み合わせ、お客様をサポートします。

4 | 整合性のある運用

クラウド戦略の進化に伴い、マルチクラウド環境全体でのデータとアプリケーションの管理は非常に複雑になる可能性があります。再トレーニングしなくても、IT 運用チームとストレージ管理チームがオンプレミス環境とパブリッククラウド環境で同じスキルセットを使用できます。マルチクラウドの効率性を高め、マルチベンダーの複雑さを軽減し、既存のクラウド戦略に基づいて適切な場所に適切なリソースを導入します。

5 | 一元管理

パブリッククラウドでエンタープライズ クラスの Dell ストレージ ソフトウェアを使用してデータを完全に制御できるため、リスクを最小限に抑え、データを保護し、懸念を排除することができます。マルチクラウド ストレージ環境全体にエンドツーエンドの可視性とロール ベースのポリシー適用をもたらし、ガバナンスと法令遵守に対する総合的なアプローチを実現します。

Dell APEX Storage
for Public Cloud の
[詳細はこちら](#)

Dell APEX アドバイザーへの
[お問い合わせ](#)

#DellAPEX で
[会話に参加](#)

¹ デル・テクノロジーズの委託による Silverton Consulting のホワイトペーパー『Conceptual TCO: Dell APEX Block Storage for Public Cloud』(2023 年 10 月) に基づきます。システムは、AWS EBS に対しては 7,740 K IOPS の IOPS パフォーマンスをサポートするよう、Microsoft Azure に対しては 10,700 K IOPS の IOPS パフォーマンスと 239,000 MPBS のスループットをサポートするように構成されました。Dell のソリューションでは、AWS EBS と Microsoft Azure についてシン プロビジョニングとシンク プロビジョニングの比率 4:1 を想定しています。実際のコストは、使用するシン プロビジョニング係数、リージョン、データ変更 / スナップショット レート、容量、使用するストレージとインスタンスのタイプ、その他の要因によって異なります。[レポート全文はこちら](#) から参照できます。